

東京のすみずみから、全国各地から、第36回日本高齢者大会に参加しましょう

はっぴやくやちょう

第36回日本高齢者大会in東京 東京実行委員会

〒170-0005

東京都豊島区南大塚3-1-12 生方ビル4F

TEL 03-5956-8781/FAX 03-5956-8782

E- [文書の重要な部分を引用して読者の注意を引いた

文京シビックホール全体会にWEB含め1700人以上 二日間でWEB含め3000人を超える参加



フィナーレは参加者全員でシュプレヒコール

第36回日本高齢者大会in東京は13日文京シビックホールで全体会が行われWEB参加も含めて約1700人が参加しました。

オープニングは日本シニア合唱団と東京年金合唱団が①仲間の歌、②東京ラブソング、③東京音頭を高らかに歌いあげて歓迎しました。



主催者挨拶に続いて柳澤協二さんの記念講演が「非戦の安全保障論」と題して行われました。「戦争は防げるはずだ、防げるはずの戦争で若い命が奪われることは看過できない。」と現在の世界の状況や日本の現状に触れ、「戦争しない国であり続けるために」何が必要かのヒントが与えられたと思います。

続いて中央実行委員会事務局長畑中久明さんが基調報告を行いました。

文化行事は前進座の皆さん、三番叟など3演目が披露されました。

分科会報告は第2分科会、第6分科会、第12分科会の三つの分科会の報告が行われました。続いて青年のメッセージ、「高齢者の経験と知恵、若者の行動力を活かして地域社会をよくしていくために力を合わせていきましょう」と呼びかけました。

大会アピールと特別決議の提案があり盛大な拍手で確認されました。

大会も最終盤に差し掛かり次回第37回の開催は愛知県で行うことが発表され大会旗の引継ぎが東京から愛知県へと行われました。

大会のフィナーレは参加者全員でシュプレヒコール、シビックホール内に高齢者の声が響き渡りました。

今大会で学んだこと、交流したことを糧に、それぞれの地域で実践し、その成果を来年の第37回日本高齢者大会に持ち寄ってさらに交流を深めましょう。

では名古屋でまた会いましょう。



前進座のみなさん



柳澤協二さん



大会旗は東京から愛知へ引き継がれました

全体会での分科会報告

第六分科会



医療費の無料化、自己負担ゼロを実現するために、長友先生から歴史を学び、神奈川県「ゼロの会」の活動、日の出町の無料化の現状を聞き討論しました。

第二分科会



日本高齢者人権宣言をどう活かすか、問題提起を受けて三重県での取り組みの報告、国連作業部会の報告を受けて取り組み強化の討論をしました。

第十二分科会



地域での運動をどう進めるか？高齢者の要求をつかみどう運動化するか。各地の取り組みの発言があり活発な討論になりました。

移動分科会一東京 山宣歩き



山宣の終焉の地、山宣が宿舎で面会を装った暴漢の凶刃に斃れた。その日の足跡をたどりながら東京山宣会の方がガイドをして下さいました。写真は「山本宣治終焉の地」のプレートと一緒に、山宣に思いを寄せて。

第7分科会

多世代でつながり豊かな地域づくり

最初に都立大の室田先生から報告がありました。「雇用のセーフティネットが消え、家族のありかたも変わった。地域共生社会が必要、ロボットやAIに依拠する社会にするわけにはいかない」と。

大正大学の学生による「学生出前定期便」の活動ほくと医療生協の「子ども食堂」や「学習支援」の活動、豊島社協の活動などが報告されました。多世代が参加した地域運動づくりが必要です。



参加者の声

第8分科会

姑が認知症だった。講師の山田先生の話がよいと聞いたので参加しました。
(東京)

第7分科会

ほくと医療生協の報告があるので参加地域では独り暮らしの方が増えていて地域のつながりのヒントを知りたかった。学生の方たちが報告されていていいですね。
(東京)

第1講座

憲法を守るということがいかに大事だということがわかった。私たちも9条の会をやっているがなかなか若い人に浸透しない。頑張るしかない。

第2講座

興味はなかったけど、政治の勉強したほうがいいと思った。わかりやすく、大企業と政治はしっかり癒着していることが分かった。我々の生活は苦しい、今の政治は国民のためじゃないことがよくわかりました。



第十講座
マイナンバーカードで国民の管理？